

経済建設委員会勉強会報告書



日時 令和5年4月28日（金）13:30～15:00

場所 瑞浪市役所5階議場

テーマ PPP/PFI手法について

瑞 浪 市 議 会

経済建設委員会

【勉強会概要】

勉強名	1) PPP/PFI手法について 中部PFI/PPP研究会 講師 広報理事 佐藤俊夫		
視察期日	令和5年4月28日（金）		
場 所	1) 瑞浪市役所 5階議場（パワーポイントによる説明）		
参加者	瑞浪市議会 経済建設委員会、その他議員		
	委員長 辻 正之	副委員長 成瀬徳夫	柴田幸一郎
	犬塚利彦	熊谷隆男	樋田翔太
	柴田増三	渡邊康弘	大久保京子
	三輪田幸泰		

【勉強日程表】

4月28日（金）

勉強時間	13:30～15:00
勉強内容	<p>1. PFI 準備体操</p> <p>1) システムの分類</p> <p>①PPP、PFI、DB、DBO、DOO</p> <p>2) 民間の資金の誘導</p> <p>①PFIとは、公共事業を民間事業者が実施するための手法</p> <p>3) PFIのターゲット（what）</p> <p>①公共施設のほとんどの事業が対象</p> <p>4) 発注方式（How to）</p> <p>①従来方式（個別発注方式）</p> <p>②PFI方式（総合発注方式）</p> <p>5) 発注方式（How much）</p> <p>①従来方式（同一案件への入札）</p> <p>②PPI方式（入札価格点は、100点中30～40点程度）</p> <p>6) 発注方式（When）</p> <p>7) 発注方式（Who）</p> <p>8) 発注方式（Where,Why）</p>

勉強内容	<p>①Whewre 年間100件以上の伸びがある。</p> <p>②Why (民間)、(行政)、の理由。</p> <p>③サービス購入型 ・PFI型 (BTO方式が主流)</p> <p>④民間協調型 (PPP・公共とのJVタイプ)</p> <p>⑤独立採算型 (PPP、リース)</p> <p>9) PFI事業のメリット</p> <p>1 0) PFIのスキーム</p> <p>1 1) PFIへの参加・課題</p> <p>1 2) 事業者の取り扱い方</p> <p>①行政</p> <p>②民間</p> <p>1 3) PPP方式</p>
------	---

勉強テーマ	<p>PFI/PPPについて</p> <p>PFIの基本的な事項を中心にした内容</p>
勉強内容	<p>PFIは行政からのお金を15年とか20年の長期にわたる運営期間において平準化した金額を毎年同じようにお金を行政が出していく方法です。民間側としての事業者は銀行から担保無しで借りる事ができる。これがPFIの基本です。行政から出されるお金で特に施設費などで一番お金が掛かります。こうした施設費は建設と引き換えにお金を支払うという方法がデザインビルドという方法です。設計、建設、維持管理、運営という取り組みを15年から20年に渡り行う事業をPPP事業といいます。</p> <p>PFIは「民間資金の誘導」です。つまり行政はお金を全て出して取り組む方法です。そのため民間は店舗の経営を行う事により利益を得る立場となります。ターゲットは公共施設、公用施設、公益施設、その他施設で公共施設のほとんどの事業が対象です。</p> <p>従来方式では個別発注方式ですがPFI方式は設計から15年又は20年間の運営まで業務を全て発注する方式です。総合発注方式です。従来方式の個別発注方式よりも総合発注方式の方が良いと思いますが、まだ行政の方々がPFIを理解していない事が多いと思います。</p> <p>従来方式の発注では何部屋あり何㎡あるかという数字を5社もしくは10社により、値段を入れて、価格の安い業者が受注する。これが使用発注と言います。このようにやり方で方式が決まっています。</p> <p>PFI方式は性能発注となり、例えば5000食の給食を作ってくださいというような方法です。図面はなく、100項目くらいの言葉が書かれているだけで発注します。この内容で業者の方々が給食の内容の案を出してもらい、最大例えば50億円の範囲で各業者に提案書を作って出してもらいます。評価としては提案が60点から0点として、コストは30点から40点としての総合評価方式となります。これがPFI方式の基本的な考え方です。決めるためのお金はすぐに分かりますが、評価点の60点や70点を決めるには選定委員の先生がどうしても必要になります。そのためには選定委員の方をどのような基準で選ぶのかについては、これからPFIを取り組んで行く上で大きな課題です。次にどのくらい掛かるのかについてですが。</p> <p>従来方式は、事業者の決定に1カ月から3カ月、設計が1年から1.5年ぐらいかかり建設が2年ぐらいかかります。維持管理については1年ぐらいで運営が3年から5年となります。</p> <p>PFI方式では、事業者の決定に1.5年から2年ぐらいで決定します。そのかわり運営を含めて17年から20年を掛けています。また事業者の応募費用としては1.5年から2年かかるので民間事業者では大変だと思います。つぎに誰が取り組むのかについてですが。</p> <p>従来方式では、氏名企業が5社から10社参加をして1案件に5回から7回の審査を行います。</p> <p>PFI方式では、1案件に1社から10社で5グループごとに応募されます。また業務ごとに応募企業の基準があります。</p>

	<p>たとえば設計だと、何㎡ぐらいの体育館の建設の経験がないと、受注する事業に応募できません。一番面白いのが地元企業の参加をどのように書くかによります。例えば瑞浪市で仕事をするときには、税金を払っている企業が参加できることが大切です。特に名古屋、大阪、東京、から1千億とかの代表企業がきて全部受注してしまう。そのため利益をすべて持って行ってしまいます。こうしたことを防止するのが地元企業の参加条件としていろいろ示します。例えば応募企業の中に瑞浪市に本社のある会社と言ったように、具体的に書いておきます。また支店のある会社とか営業所のある会社とかいろいろ書き方があると思います。あるいは、地元企業を3社入れなさいとか4社入れなさいと書いたりすると思います。</p>
所感	<p>今回のPFI方式の説明を聞いて行政と民間との役割が良くわかりました。行政は公共施設などの運営で15年から20年という長期間にわたって施設費として平準化した金額を毎年行政が出していく事で、民間の経営に負担をかけない取り組みや、民間は店舗の経営により利益を得る事で安定した収入が得られるようになり、民間事業者の負担が少なくなることは大変良いシステムだと思います。また民間事業者が店舗を出店するときなどの開業資金などは銀行から無担保で融資が受けられることも民間事業者としても参入しやすいシステムだと思いました。本市においても今後、瑞浪・恵那道路の建設と共に、釜戸地区に「まちづくりの核」として、道の駅整備が行われます。この道の駅には民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して公共サービスが提供されると思いますので今後はPFI方式を取り入れて民間の事業者が参入しやすい環境を作る必要があると思いました。</p>